

群馬県障がい者基幹相談支援センター まとめ資料

館林市邑楽郡 4 町障がい者基幹相談支援センター

しろっこ

群馬県の基幹相談支援センターの現状から未来

圏域・市町村 基幹相談支援センター

1. 前橋市 前橋市基幹相談支援センター (前橋市)
2. 高崎市 高崎市基幹相談支援センター (高崎市)
3. 桐生市 桐生市障害者基幹型相談室 (桐生市)
4. 伊勢崎市 伊勢崎市障害者基幹相談支援センター (伊勢崎市)
5. 太田市 太田市障がい者相談支援センター (太田市)
6. 利根沼田圏域 利根沼田障害者相談支援センター (利根沼田圏域)
7. 館林市邑楽郡4町 館林市邑楽郡4町障がい者基幹相談支援センター
(館林市 + 板倉町 + 明和町 + 千代田町 + 邑楽町)

群馬県の基幹相談支援センターの現状から未来

- 8. 渋川広域 渋川広域障害福祉なんでも相談室
(渋川市 + 吉岡町 + 榛東村)
- 8. 藤岡市 藤岡市基幹相談支援センター (藤岡市)
- 10. 富岡圏域 相談支援事業所みのり (基幹) (富岡市 + 甘楽郡)
- 11. 安中市 安中市障害児者基幹相談支援センター (安中市)
- 12. 吾妻圏域 あがつま相談支援センターやまばと (吾妻圏域)
- 13. みどり市 みどり市障がい者基幹相談支援センター (みどり市)
- 14. 玉村町 玉村町障がい者 (児) 基幹相談支援センター (玉村町)
- 15. 大泉町 大泉町障害者基幹相談支援センター (大泉町)

群馬県の基幹相談支援センターの現状から未来

大きく分けると（現状は、複数の選択肢が該当しています。）

1. 行政直営型 ：行政色が強い／安定性あり／柔軟性が低くなりやすい
 2. 委託法人型
（単独と複数法人） ：実働性が高い／地域性を活かしやすい
 3. 圏域共同型 ：群馬県で最も多い
 4. 拠点連動型 ：基幹＋地域生活支援拠点等＋虐待防止を一体化
- 県の「バリアフリーぐんま障害者プラン8改定版」では、令和8年度末までに「各市町村において」「共同設置を含めて」基幹相談支援センターを設置することが目標として明記されています。

群馬県の基幹相談支援センターの現状から未来

- 県は、典型的な「広域共同型」が中心で、「委託型」が多い県です。
- 単なる相談窓口ではなく、地域自立支援協議会との連動、地域生活支援拠点等との接続、人材育成、相談支援体制強化まで含めた「**地域づくり型**」の**基幹**へ進もうとしています。
 - 地域の相談支援体制の強化
 - 基幹相談支援センターによる検証
 - 相談支援専門員の人材育成
 - 協議会機能強化

群馬県の基幹相談支援センターの現状から未来

今後の県の基幹相談支援センターは、単なる「総合相談窓口」ではなく

- 地域ネットワーク形成
- 協議会運営
- 地域課題抽出
- 人材育成
- 困難事例支援
- 地域生活支援拠点等との統合

と役割が整えられて行くと思います。

群馬県の基幹相談支援センターの現状から未来

- 県の基幹は、全国平均と比較すると「協議会中心型」が多く、
地域課題抽出・困難ケース支援・協議会運営・人材育成・圏域調整に重心があります。
- 全国で機能している基幹の共通点
 - ① ケースを抱え込みすぎない
「地域全体の支援力を上げる」ことを重視し、
後方支援・スーパーバイズ・同行支援・連携調整が中心。
 - ② 協議会が“動いている”
地域課題の見える化・実践共有・人材育成・ワーキング化を行っている。
- しろっこの目指しているところ
協議会⇒地域の方向性⇒合意形成⇒政策形成⇒基幹⇒実務⇒地域分析⇒
ケース蓄積⇒ネットワーク形成

群馬県の基幹相談支援センターの現状から未来

主任相談支援専門員との役割分担

■ 主任 = 専門支援

■ 基幹 = 地域支援

ただし実際は重なります。

- **主任が孤立しない**
- **基幹が抱え込まない**
- **協議会が循環する**

ことが重要です。

群馬県の基幹相談支援センターの現状から未来

「群馬県は今、転換期にある」

- 県の基幹相談支援センターは、単なる相談窓口整備の段階から、
「**地域全体を支える基盤づくり**」へと移行しつつある。
- その中で、広域共同型・協議会連動型・拠点連携型を特徴とする「**群馬県型基幹**」が形成され始めている。

館林市邑楽郡 4 町障がい者基幹相談支援センター—現状

基本理念

「誰もが安心して暮らせる、思いやりと支え合いの循環する地域づくり」

事業の概要

1. 総合相談支援

- ① どんな困りごとにも、まず受け止める窓口です。
- ② 生活の不安、サービスのこと、家族の悩みなど、状況を一緒に整理し、必要な支援につなぎます。

2. 他法相談支援

- ① 委託相談支援事業所と連携し、支援が途切れないようにサポートします。
- ② 制度が違う相談（子ども・高齢・医療など）も含め、関係機関との調整を強化します。

館林市邑楽郡 4 町障がい者基幹相談支援センター一現状

3. 支援者支援（スーパーバイズ・研修）

- ① 地域の相談支援専門員の“伴走者”として、助言や研修を行います。
- ② 難しいケースの相談、支援の振り返り、スキルアップの機会づくりなど、支援者が孤立しない環境を整えます。

4. 地域づくり（地域自立支援協議会運営等）

- ① 福祉・教育・医療・行政など、地域の力をつなぎ、支援体制を整えます。
- ② 協議会の運営やネットワークづくりを通して、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めます。

※重要課題（委託事項） ・ 相談支援事業所の後方支援 ・ 協議会の運営

5. 対象地域

館林市・板倉町・明和町・千代田町・邑楽町